

2024-25 年度 会長方針

会長 空門 満也



「信頼・尊敬・思いやり」

温かい心で優しい風を吹かせよう！

本年度 RI 会長ステファニー・アーチック氏は「ロータリーのマジック」(The Magic of Rotary) をテーマに掲げられ、多くの人びとを救うロータリーの力を認識してこれをさらに広げるよう呼びかけました。

私たちロータリークラブの会員は、プロジェクトを終えるたび、寄付するたび、新会員を迎えるたびに、我々はマジック（魔法）を生み出すとおっしゃられました。アーチック氏は、ロータリーの行動計画を推進し、継続と変化のバランスを取り、平和のために活動するよう会員に促しました。

本年度 2660 地区ビジョンは昨年に引き続き以下の様に掲げられております。

- ・ 持続可能な良い変化を生むために、多様性を重んじ、あらゆる側面で公平さを促進し、異なる考え方や価値観をもつ人々による貢献を大切にし、DEI「多様性・公平さ・インクルージョン」を実現します。
- ・ RI テーマを理解し、地域の特性にあった活動を通じて、それぞれが「魅力のある・元気ある・個性ある」クラブになる事を目指します。
- ・ ロータリーの原点である親睦と奉仕を根幹とし、世界および地域社会でよい変化を生み出します。
- ・ 世界の未来を担う青少年の活動を支援し、若きリーダーの育成に努めます。

現在世界では残念ながら、テロや紛争が絶えず、ロシアのウクライナ侵攻は2年を超え、イスラエルのガザ侵攻、シリア、イエメン、ミャンマーなどの内戦、アフガニスタンやクルド・トルコ紛争など出口が見えません。歴史的背景や内政事情、利害関係が複雑に絡み合っているためですが、その中で日々生命の危機にさらされている人々がいる現実には、心が痛むばかりです。また環境問題をはじめ、貧困・飢餓、児童労働、難民問題、人種を始めとする各差別、食品ロスなど数限りない問題も抱えております。

私たちの日本におきましても、人口減少、巧妙に進化する詐欺や組織的な凶悪犯罪などの増加、本年1月1日に発生した能登半島地震のように数年ごとに来る大地震とその先に見える南海トラフ大地震への懸念、混沌とするこの昨今、少しでも気持ちが明るくなれる環境が必要だと思います。

ロータリーの使命は、職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人びとに奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進することです。

私たちが奉仕活動を推進することによって、奉仕を受ける側だけではなく私たち奉仕する側も、幸せになれるものだと思います。なぜなら、われわれ人間は自分たちの行為が人のためになり、笑顔をもたらすことに幸せを、またその中でかけがえのない出会いがあることに喜びを感じることができるからです。

本年度、私は「信頼・尊敬・思いやり」温かい心で優しい風を吹かせよう！とスローガンを掲げさせていただきます。クラブが団結して推進することによってより良い奉仕活動につながるものだと考えます。そのために必要なものは、メンバー同士が信頼し、尊び、敬い、お互いを思いやる気持ちを持つことが必要不可欠だと思います。そしてその思いがクラブ全体に温かい空気を作り、その中での奉仕活動は優しさ溢れる、かかわった人々に幸せをもたらす魔法になると信じます。またその思いは、地域や地区、友好クラブや姉妹クラブなどにおいても同じだと思います。

1905年2月23日、世界初のロータリークラブ（シカゴ・ロータリークラブ）を設立したポール・ハリスの夢はさまざまな分野の職業人が集まって知恵を寄せ合い、生涯にわたる友情を培うことのできる場をつくることでした。私見ですが、恐らくは皆が信頼と尊敬で結びついていたのではないのでしょうか。その中でいろんな出会い、学び、感動が生まれ、友情が育まれ、皆が幸せを感じる空気は、非常に温かく優しいものだったと想像します。

大東ロータリークラブが「信頼・尊敬・思いやり」をもって、奉仕と親睦活動を推進していくことによって、出会いがあり、学びがあり、笑いがあり、感動があり、先輩諸兄が育てこられた持続可能な魅力あふれるクラブが更に継続し、より良い地域社会を育む一助になるものだと思います。そして持続可能な魅力あふれるクラブであり続けることは、会員拡大、退会防止にも繋がる力になることでしょう。

ロータリーの理念である「親睦・奉仕」を胸に宿し、四つのテストで物事を考え行動することを念頭に置き、DEI「多様性・公平さ・インクルージョン」の考えを大事にし、一年間真摯に会長職に向き合わせていただきたいと存じます。

浅学菲才（せんがくひさい）の身ではございますが、会員の皆様、理事役員の皆様のご指導ご鞭撻、深いご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

●幹事

中野 隆二

本年度、空門会長は、【「信頼・尊敬・思いやり」温かい心で優しい風を吹かせよう！】とのスローガンを掲げられました。クラブが団結して推進することにより良い奉仕活動ができ、メンバー同士が信頼し、尊び、敬い、お互いを思いやる気持ちを持って、かかわった人々に幸せをもたらせるように取り組みをさせていただきます。そして、幹事の担う役割は「会長の方針に従い、会長と一体となってクラブの運営を推進し、クラブの要としてクラブ内外の多彩な実務を担当すること」とあります。これは、クラブの状況を把握して、クラブの効果的な運営を支え、記録の管理と報告を行うということです。そして、与えられた具体的な任務をみますと改めて、その果たすべき役割の重要性を痛感するとともに、クラブ運営をスムーズに進めることが幹事に課せられた役割と認識し、空門会長のもとその職責を全うしなければならないと思っております。何かと行き届かないところが多々あるかと思いますが、会員の皆様のご支援・ご協力を賜りまして、この一年間を務めさせていただきたく存じますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

●会 計

柿木 篤

本年度、空門会長の方針【「信頼・尊敬・思いやり」温かい心で優しい風を吹かせよう！】のもと、厳しい状況が続くクラブ運営の予算を適正に管理し、各委員長が企画・立案されました事業計画に対して有意義な活動となるよう誠心誠意かつ速やかに対応してまいりたいと思います。会員の皆様におかれましては、一年間ご理解とご協力を宜しくお願い致します。

●S. A. A.

森田 武雄

2024－2025 年度、空門会長を筆頭にロータリークラブが始まり、例会38回の会場運営をSAAが担います。ロータリーメンバー例会の考え方は様々だと思います。友愛の握手から始まり、食事をし、日々の会話を分かち合い、メンバー卓話で学びや発見に気づかれ様々だと思います。SAAと致しましてメンバーの皆様から例会で意見を頂き食事や進行、卓話をより良い時間になるように努めて参ります。会長のスローガン【「信頼・尊敬・思いやり」温かい心で優しい風を吹かせよう！】のもと進んで参ります。

中野幹事、事務局、親睦活動委員会と連携し、実りのある例会にして参りたいと思います。皆様、一年間よろしくお願い申し上げます。

●クラブ奉仕委員会

委員長 中 恒夫

五大奉仕の一つでありますクラブ奉仕委員会の定義は「会員同士の関係をはぐくみ、積極的な会員増強計画を実行して、活力あるクラブづくりを行うこと」とあります。本年度、空門会長は【「信頼・尊敬・思いやり」温かい心で優しい風を吹かせよう！】というテーマを掲げられました。他の四大奉仕の委員長とコミュニケーションをとりながら、DEI「多様性、公平さ、インクルージョン」を基本に例会、事業、会員相互の親睦を中心に活力あるクラブになります様に行動してまいります。会員の皆様のより一層の御協力をお願い申し上げます。

●職業奉仕委員会

委員長 西山 潤一

本年度の空門会長のテーマである【「信頼・尊敬・思いやり」温かい心で優しい風を吹かせよう！】を基本理念に、ロータリアンは職業を通じ地域社会に変革をもたらす活動をし、かつ自職において高い品位と道德水準を高める存在であらなければならないと考えます。その為には「職業理念」について学びクラブ内においてその精神性を浸透させるべく、努力致したいと思います、地域社会に職業を通じて、すこしでも役立つ奉仕をし、地域社会全体が良くなることを進めて行きたいと思いますので会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

●社会奉仕委員会

委員長 中崎 諭

本年度、社会奉仕委員会委員長を仰せつかりました中崎です。空門会長の掲げられましたスローガン【「信頼・尊敬・思いやり」温かい心で優しい風を吹かせよう！】のもと、社会奉仕委員会といたしまして地域社会における継続事業をはじめ、地区からの補助金をいただき、遊具寄贈プロジェクトを予定しております。このような事業の一つ一つがより良い地域社会づくりの一助になると考えます。また各種募金、各地で起こる自然災害における義援金等で会員の皆様にはお願いとご協力を頂く事があると思いますが「温かい心で」一年間どうぞよろしくお願いいたします。

●国際奉仕委員会

委員長 森脇 克弥

本年度、国際奉仕委員会の委員長を仰せつかりました森脇克弥でございます。ロータリークラブにおける国際奉仕とは、ロータリアン同士や一般の人々の間で理解と善意を育み、奉仕の理想に結ばれた事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親

善と平和を推進することを目的とします。会員が国際間の理解、親善、平和を推進するために、国際的なプロジェクトでボランティアをしたり、海外のパートナーと協同活動を行ったことであります。これらの目的を達成するため、本年度、空門会長の掲げられましたスローガン、【「信頼・尊敬・思いやり」温かい心で優しい風を吹かせよう！】を念頭に置き、各事業に取り組んで参りたいと存じます。昨年度の WCS 事業は台北雙溪扶輪社で行われました。本年度は大東ロータリークラブで実施される予定でございます。過去の歴代国際奉仕委員会委員長が実施されました WCS 事業を引き継ぎ、また、台北雙溪扶輪社と連携を取りながら、邁進して参りたいと存じます。

会員の皆様には、ご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

●青少年奉仕委員会

委員長 谷中 宗貴

B リーグチームのオフィシャルパートナーを務める関係で、数年前になりますが、全ての
大東市立の小中学校全校へバスケットボールを寄贈いたしました。先日とある場所で世間話をしていると、従業員のご令孫が誇らしげにそのバスケットボールを使ってくれているとのエピソードを聞き、私の少しばかりの良心が役に立っているのだと胸を打たれました。何気ないワンアクションがひとりの小さな自信となり、努力を生み、前を向いていきるという効果を生みだしているかもしれない。奉仕活動の魅力とはそういったところにあると感じます。

本年度は第45回大東ロータリークラブ旗杯争奪少年野球大会の開催が予定されております。通年の褒章事業とはなりますが、その継続性も含め青少年に榮譽を施すことのできるすばらしい事業と認識いたしております。榮譽の大きさは私たちのクラブの社会的貢献度や認知度等に拠るところとは存じますが、長年培われてきたこの奉仕の仕組みの本質的な意義を再認識し、現代社会に適応した形でひと工夫加味することができればさらによき事業となり得るのではないのでしょうか。

開催予定の第19回大東市小中学校弁論大会についてですが、昨年は、あくまで個人的な見解ですが、特に中学生の論述が他力本願的な主張で、画一的な論調であったことは非常に残念でした。スラंग的な表現である‘令和らしさ’や‘令和だから’など基準なき不明確なものに惑わされるのではなく、上手く、要領よくいきることが‘令和’であると得体の知れない誰かに先導されるのではなく…、言葉というツールを使用して、これまで取り組んできたことやこれから取り組んでいこうとすることなどを、純粹に自身を開放し、論述的に表現して欲しいと感じました。それぞれ視点や主張は違うとは存じますが、未来を担う若者たちに期待し、協賛させていただきたいと思います。

●地区インターアクト委員会

委員長 佐藤 多加志

本年度はクラブより地区インターアクト委員会委員長として出向させていただきます。
2660地区では新設認証校を含め12校 350名程度のインターアクターが在籍しています。地区でも青少年奉仕統括委員会直下に設置されており RAC・ROTEX・RYLA・学友それぞれの委員会と連携を取りながらロータリーファミリーとして活動する事を求められています。本年度、インターアクト委員会として

【活動方針】

次世代を担う青少年が世界平和と国際交流を目的とし自主的なリーダーシップを身に付けるべく指導力養成と育成の一助となるべく活動を推進します。

【テーマ】：安心して集い学ぶ奉仕と絆

- 各事業に於いて各校生徒の積極的な参加を促します。
- 各校クラブに対し RAC との交流推進を積極的行います。
- 地域に役立つボランティア活動に参加
- インターアクト・プログラムを管理する。
- すべてのクラブが連絡先を RI に毎年提出していることを確認する
- インターアクトクラブ同士の関係を深め、インターアクトとロータリーとの関係強化につながる斬新な方法を探る。
- RAC への「道しるべ」となるべく事業の企画と実施。 他委員会企画事業への参画

微力ではありますが、クラブ出向者としての責務を遂行していく所存です。
本年度も会員皆様のご協力を賜りますようお願いいたします。

●会員増強委員会

委員長 田川 和見

本年度 RI 会長のテーマでもあります、「ロータリーのマジック」を踏まえ、空門会長のテーマ【「信頼・尊敬・思いやり」温かい心で優しい風を吹かせよう！】を掲げられました。会員増強委員会は多様性を重んじ、異なる考えや価値観を持つ人々による貢献を大切に、信頼・尊敬・思いやりをもって会員減少する中で魅力あふれる仲間を1人でも多く正会員・準会員・女性会員の増強に努力してまいります。活気あるクラブになります様に本年度も会員の皆様ご協力お願い致します。

●ロータリー情報委員会

委員長 中野 秀一

世界各国のロータリークラブにおいて、持続可能な社会の実現に向けたDEI「多様性と公平性と内包性」を尊重する考え方がここ数年大きく推進されてきました。当クラブにおいても時代の潮流にあわせて、若い会員や女性会員の入会を促進するべく、準会員規定が導入されるなど、伝統と格式を重んじる当クラブにも「組織の継続と発展」に向けての新たな取り組みが進めてこられました。「持続可能なクラブ」を実現させるためには、新たな人材を獲得し、新陳代謝が適度に繰り返され活性化し続ける組織となる必要があります。これらを解決する手段と最重要課題として、それが「会員増強」である事を、今や全会員の周知するところであり、共有認識されていると考えます。

本年度、空門会長が掲げる【「信頼・尊敬・思いやり」温かい心で優しい風を吹かせよう！】というテーマのもと、ロータリー情報委員会は、課題解決の為に戦略委員会・会員増強委員会と情報共有を図りながら、新入会員の獲得と定着に寄与するべく、新入会員（入会予定者や入会候補者）に向けては「ロータリークラブ会員の特典と責務」に関する情報を的確に提供すると共に、入会してからの最初の一年間については新入会員へのオリエンテーションを「温かい心」で監督し、組織への帰属意識を高める活動が出来ればと思います。又、既存会員の皆様にもロータリーの歴史、綱領、活動に関する情報を、機会を見つけて提供する事が出来れば、委員会としての担いを全う出来るのではないかと考えております。

我々が培ってきた経験・知識・伝統を、変革を繰り返しながら次世代へ継承して行くためにも、皆様には当委員会へのご理解とご協力を賜ります様お願い申し上げます。

●プログラム委員会

委員長 小川 芳男

本年度プログラム委員会委員長を仰せつかりました小川芳男でございます。卓話担当の1年分のリスト表を作りお願い致しましたところ、みなさまの御協力を頂きリスト表通りの年間計画表が出来上がりました。卓話担当が、諸事情により日程通りにむずかしくなった時は、他の日程の方と交代で対応して頂ければと考えております。1年間何卒ご協力を、よろしくお願い致します。

●親睦活動委員会

委員長 生駒 智人

本年度、親睦活動委員会、委員長を仰せつかりました生駒智人でございます。空門会長のスローガン【「信頼・尊敬・思いやり」温かい心で優しい風を吹かせよう！】のもと、秋の家族会、クリスマス例会の企画運営や例会の設営等、親睦活動を通じて会員相互・会員の御家族の御理解と親睦を深めて貰います。また、大東ロータリークラブに愛着を持ち友好と信頼を育み、思いやりの心を大切に仲間作りと、奉仕活動実践の一助となるような雰囲気

作りに努めて参ります。一年間、親睦委員会メンバーと共に楽しく親睦活動を進めて参りたいと存じます。会員諸兄の皆様にはご指導ご鞭撻、深いご理解とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

●広報委員会

委員長 岸沢 重和

本年度、広報委員会委員長を仰せつかりました岸沢重和でございます。空門会長が掲げられました方針【「信頼・尊敬・思いやり」温かい心で優しい風を吹かせよう！】のもと、前年度委員長が中心となって構築頂いたシステムを活用し、ホームページ・SNS・会報をワンストップで編集・投稿を行い会員の皆様の活躍を積極的にアップしていきたいと考えております。事務局、副委員長のお力添えを頂きながら1年間頑張ってまいりますので宜しくお願い致します。

●シンギング委員会

委員長 樋本 有伸

例会にご出席のみなさまにやさしい風を吹かせるようにタクトを振りたいと思います。和やかな雰囲気でお過ごしいただける様努めますので、一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

●ニコニコ箱委員会

委員長 中野 剛

今年度、ニコニコ箱委員会担当させて頂くことになりありがとうございます。卓話までの間少しでも楽しんでいただける時間になるよう、また沢山のお志が集まるよう努力いたしますので宜しくお願い致します。

●ロータリー財団委員会

委員長 大東 弘

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を構築できるよう支援することです。その運動の源泉はロータリアンからの寄付により成り立っています。私たちロータリー会員は、会費を通じて国際ロータリーを支援し、寄付を通じてロータリー財団を支援しています。ロータリー財団の活動意義をメンバー各位に理解いただき、ご寄付に対する協力をいただくのが使命であると考えます。これからも皆様のご協力を宜しくお願いします。

●米山奨学委員会

委員長 岡井 康弘

ロータリー米山記念奨学事業は、勉学や研究を志して日本で学ぶ多くの外国人留学生に対し、日本全国のロータリークラブ会員の寄付金を財源として、奨学金を支給して支援している国際奉仕事業です。将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としています。

ロータリー米山奨学生は、ロータリークラブを通して日本の文化、習慣などに触れ、社会参加と社会貢献の意識を育て、将来ロータリーの理想とする国際平和の創造と意地にご貢献する人となる事が期待されます。

会員の皆さまには、引き続き米山奨学事業にご理解とご協力をいただけるよう取り組んでいきますのでご指導賜りますようお願い申し上げます。

●インターアクト委員会

委員長 樋口 光平

このたび、インターアクトクラブ委員長に任命されました樋口光平です。微力ではございますが、皆様と力を合わせ、青少年の成長と地域社会への貢献を推進するため、全力を尽くして参ります。また、提唱校と大東 RC との懸け橋としての役割をしっかりと果たし、よりお互いの関係性が好循環となるよう努めさせていただきます。

インターアクトクラブは、若者たちがリーダーシップを学び、社会貢献活動を通じて成長する場です。そのために、以下の所信を持って委員長としての務めを果たして参ります。

1. 青少年のリーダーシップ育成

未来を担う若者たちが、自らの力で問題を解決し、他者と協力して目標を達成できるリーダーとなるためのプログラムを現状のクラブ活動に組み込んでもらえるように提唱校に働きかけます。

2. 地域社会への積極的な貢献

インターアクトクラブの活動が地域社会にどのように役立つかを考え、具体的なプロジェクトを提唱校主体で企画・実施していきます。清掃活動や福祉施設でのボランティアなど、多岐にわたる活動を展開し、地域の皆様との絆を深めます。

3. 国際理解と交流の推進

異なる文化や価値観を理解し尊重することは、グローバル社会で活躍するために欠かせない要素です。国際交流プログラムを通じて、他国のインターアクトクラブとの連携を深め、世界視野での友情と協力関係を築いていきます。

結びに、インターアクトクラブの委員長として、皆様のご支援とご協力を賜りながら、青少年が輝く未来を創造するための活動に邁進してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本年度、空門会長は、【「信頼・尊敬・思いやり」温かい心で優しい風を吹かせよう！】のスローガンを掲げ、一年間会長として大東ロータリークラブの先頭に立ち、これまでの歴史と伝統を持続可能な魅力あるクラブを目指して、邁進されることと思います。

昨年度、私は“笑顔で和気藹々”をテーマに会長として取り組んできました。昨年度の最大のミッションを会員拡大とし、「会員数55名」に増強するべく、中野直前クラブ戦略委員長を筆頭に戦略委員相互で入会候補者の情報を共有し、色んな方々とお会いし、入会に向け取り組んで頂きました。その結果2人の新入会員を迎える事ができました。クラブ戦略委員長として、引き続き会員拡大に向け、大東ロータリークラブの歴史と伝統を次世代へ引き継いで行けるよう努力したいと思います。

会長方針にもあるように、会員相互に「信頼・尊敬・思いやり」をもって、奉仕・親睦活動に邁進していくことによって、出会い・学び・笑い・感動があると書かれています。これらの活動を通じて、持続可能なクラブを目指し、会員一人一人の心の健康と幸福な環境が整えば、モチベーションが上がり、ひいてはロータリーの組織力が上がります、組織力が上がれば、自ずと会員の拡大に繋がるという好循環が生まれます、そんな空気感を本年度も作れるよう心がけて参ります。

本年度も会員増強委員会の田川委員長と共に当クラブの目標であった「会員数55名」への実現を目指してまいりたいと思います。

会員の皆様には、何卒ご理解とご協力を宜しくお願い致します。